

平成30年 2月13日

東松島市議会議長 阿部 勝徳 様

(会派名) 市民クラブ

代表者氏名 佐藤 富夫



### 会派活動実施報告書

東松島市議会政務活動費をもって、下記の会派活動等を実施したので、報告します。

1 会派活動の項目(該当を○で囲む)

調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要望・陳情活動費、会議費

2 活動名称: 杉並区教育ビジョンと板橋区役所の防災についての政務調査及び総務省への陳情

3 実施期日: 平成30年1月30日～2月1日

4 活動成果: 1、杉並区教育委員会  
①小中一貫教育 ②特色ある学校づくり  
③教員の指導力向上 以上の質疑  
2、副市長に同行し、総務省への基地交付金に関する陳情  
3、板橋区防災センター見学、地域防災計画や議会災害対応方針質疑

5 添付書類: 別紙のとおり

◎板橋区災害対策室では、スクリーンを見ながら情報収集の実際を視察。また、区民の安全を守る防災計画の説明を受け参考になった。

◎杉並区はコミュニティスクールの取り組みでは先進的で、地域の人材を学校に取り組む姿勢や学校づくりはまち作りという意識の高さに学ぶ所、大であった。



## 市民クラブ報告書

別添：板橋区についての活動成果についての考察

### 1. 議会の防災体制の取組

災害対策基本法では議会の位置付は無い。しかし現実には災害時には議会も何らかの動きをせざるを得ない事を考えれば、議会も組織化するのは必定である。

#### 1) 板橋区職員賛否確認システム

災害時には、当局にない議会議員についても安否確認システムが確立している。3. 11 震災時には本市議会で口頭で安否確認の通知はしたが、ナシのツブテであった事からシステム化は必要であると思料する。

#### 2) 安否確認のフロー化及び当面の対応フロー

この件についても確立して居り、早速にも取り組むべきものである。

#### 3) 区議会対応方針

本市とはマッチングしないものもあるが、これについても整備する必要がある。

### 2. 板橋区防災センターについて

最新のシステムによる、リアルタイムのモニタースクリーン、気象観測システムなどが完備されている。財務内容を比較すれば同率には出来ないが、大震災を経験した割には本市の施設、設備的には、おそまつに思える。身の丈に合った対応が必要と思料する。

※以上、ほんの一端ではあるが、本議会も整備する必要がある。